

目 次

送電線装柱美化

送電線装柱美化
専門委員会

委員会組織	(1)
第1章 総 説	(3)
1-1 概 要	(3)
1-2 検討対象	(3)
1-3 検討項目	(4)
第2章 アメリカにおける美化装柱	(5)
2-1 概 要	(5)
2-2 アメリカにおける美化装柱の考え方	(5)
2-3 アメリカにおける美化装柱例	(6)
2-4 アメリカにおける設計例	(10)
第3章 推奨美化装柱例	(14)
3-1 概 要	(14)
3-2 推奨美化装柱例	(15)
第4章 柱体の設計と材料	(22)
4-1 概 要	(22)
4-2 柱体設計の諸問題	(22)
4-3 諸 材 料	(26)
4-4 鋼 の 性 質	(26)
4-5 鋼 材 の 形 状	(27)
4-6 断面形狀	(27)
第5章 基礎設計	(30)
5-1 概 要	(30)
5-2 基礎の種類	(30)
5-3 基礎に加わる荷重と変位	(31)
5-4 基礎設計	(31)
5-5 基礎と上部構造の接続	(32)
第6章 がいし装置	(33)
6-1 概 要	(33)
6-2 がいし装置の種類と特徴	(33)
6-3 がいし装置の強度設計	(34)
6-4 美化装柱支持物への適用	(36)
第7章 製作・構造上の問題点	(37)
7-1 概 要	(37)
7-2 鋼管柱の製作	(37)
7-3 柱体継手部構造の種類と得失	(38)
7-4 腕金取付け部局部座屈の破壊試験	(40)
第8章 施工面の検討	(44)
8-1 概 要	(44)
8-2 現場調査	(44)

8-3 基 础 工 事	(44)
8-4 建 柱 工 事	(48)
8-5 架 線 工 事	(53)
第9章 保守面の検討	(55)
9-1 概 要	(55)
9-2 昇 降 装 置	(55)
9-3 付 属 装 置	(55)
9-4 標 識 類	(58)
9-5 保守面からみた形状や構造上の留意事項	(58)
9-6 保守の機械化	(59)
第10章 色 彩 調 和	(59)
10-1 概 要	(59)
10-2 色の表示（マンセル記号）	(59)
10-3 環 境 と の 調 和	(60)
10-4 色彩の心理的効果	(61)
10-5 色 彩 の 選 択	(61)
第11章 関 連 諸 法 規	(62)
11-1 概 要	(62)
11-2 技 術 基 準	(62)
11-3 関 係 諸 法 規	(62)
11-3-1 道 路 法	(64)
11-3-2 高速自動車国道法	(65)
11-3-3 河 川 法	(65)
11-3-4 自 然 公 園 法	(66)
11-3-5 都 市 計 画 法	(66)
11-3-6 都 市 公 園 法	(67)
11-3-7 古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法	(67)
第12章 代表的装柱の試算例	(67)
12-1 概 要	(67)
12-2 柱 体 設 計	(68)
12-3 シングルポールタイプ	(68)
12-3-1 形 状 尺 法	(68)
12-3-2 設 計 条 件	(68)
12-3-3 計 算 過 程	(68)
12-3-4 計 算 結 果	(70)
12-4 ダブルポールタイプ	(73)
12-4-1 形 状 尺 法	(73)
12-4-2 設 計 条 件	(73)
12-4-3 計 算 過 程	(74)
12-4-4 計 算 結 果	(74)
12-5 ラーメンタイプ（I断面, BOX断面）	(78)
12-5-1 形 状 尺 法	(78)
12-5-2 設 計 条 件	(78)
12-5-3 計 算 過 程	(78)
12-5-4 計 算 結 果	(80)

12-5-5 検討事項	(82)
12-6 基礎設計例	(82)
第13章 経済性の検討	(83)
13-1 概要	(83)
13-2 建設費の比較	(83)
13-3 検討結果	(85)
第14章 美化装柱実施例および実施予定	(86)
14-1 概要	(86)
14-2 建設済み線路例	(86)
14-3 計画中線路	(86)
第15章 今後の展望	(93)
15-1 美化装柱支持物の現状	(93)
15-2 美化装柱支持物の将来	(93)
15-3 今後検討すべき事項	(93)
付録	
1 柱体たわみ量の試算結果	(95)
2 振動試験結果	(96)
3 鋼材の性能	(100)
4 ポール基礎試験結果	(106)
5 溶接の検査および検査後の補正塗装	(112)
6 腕金取付け部破壊試験結果および応力解析結果	(129)
7 美化装柱の多雪地帯への適用	(135)
8 基礎設計計算例	(139)
電気協同研究会の動き	(152)